

第73回中日文化賞 候補者ご推薦のお願い

2019年12月吉日

各位

拝啓 師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は私ども中日新聞社にさまざまなご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、小社は学術、文化、芸術などの分野で顕著な功績を挙げた方、もしくは団体に「中日文化賞」を差し上げております。日本国憲法の施行を記念して設けました本賞も、今回で73回目を迎えます。本賞にふさわしい方がおいででしたら、ぜひご応募いただきたく、誠に勝手ながら推薦状一式を送らせていただきました。

選考の都合上、締め切りは2020年2月12日（午前必着）とさせていただきます。推薦者・被推薦者とも、役職の有無、自薦・他薦を問いません。

年末年始のご多用の折、誠に恐縮ですが、どうかよろしくご検討ください。不明な点は、以下の事務局担当までお問い合わせください。

末筆ながら、一層のご健勝とご多幸をお祈りしております。

敬具

中日文化賞事務局長

清水俊郎（中日新聞文化部長）

〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1

電話 052 (221) 1190 （平日 10時から17時）

事務局担当記者＝谷口大河（たにぐち・たいが）

宮崎正嗣（みやざき・まさつぐ）

- ※ 推薦書ご郵送の際は、恐れ入りますがお手元にある封筒に封入いただき、弊社あて着払いにてご送付ください。電子メールでのご送付も受け付けています。
- ※ 推薦状の電子データ（Word形式）をご希望の方は、上記事務局へ、電子メール n-bunka@chunichi.co.jp でご請求ください。折り返し、添付ファイルでお送りします。

第73回 中日文化賞

候補者推薦のお願い

2019年12月

各位

中日新聞社は、第73回中日文化賞の選考準備を進めております。ご多用中恐縮ではございますが、下記の要領により候補者のご推薦を賜りますようお願い申し上げます。

同賞は日本国憲法の施行を記念し1947(昭和22)年に制定、翌年に第1回贈呈式を行いました。以来、2019年の第72回までに、364人と10団体を顕彰しております。

中日新聞社

代表取締役社長 大島 宇一郎

◎中日文化賞規定

1. 学術、芸術、文学、宗教その他一般にすぐれた文化的業績を顕した個人または団体に贈る。
1. 受賞者はつぎの三条件のうち一つ以上にあてはまること。
 - ① 中部日本地区に現住すること。
 - ② 中部日本地区の出身であること。
 - ③ 中部日本地区を対象とする業績を挙げ、または同地区に貢献があること。(注)中部日本地区とはつぎの1府11県をいう。
愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井、滋賀、京都、奈良、和歌山。
1. 受賞者発表は2020年5月3日付本紙朝刊で。贈呈式は5月下旬の予定。
1. 賞額のほか、正賞(時計)と副賞(200万円)を贈る。

◎候補者推薦要領

1. 推薦書にご記入のうえ、同封の返信用封筒でお出しく下さい(切手不要。「差出有効期間」の後でも引き続き使えます)。書類が入りきらない場合はお手元の封筒に入れ、着払いにてご送付ください。
1. 候補者が複数の場合、略歴などの事項を適当な別紙にご記載のうえ、添付してください。
1. 業績の内容は、推薦用紙右面に600字程度に要約してご記入ください(印刷文書のはりつけも可)。なお付記事項がありましたら、別紙にご記入のうえ添付してください。
1. 推薦締め切り 2020年2月12日(午前必着)
1. 連絡先
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号(〒460-8511)
中日新聞社編集局文化部内
中日文化賞事務局
電話 名古屋<052>221-1190(平日10時-17時)
電子メール n-bunka@chunichi.co.jp

推 薦 書

中 日 新 聞 社

代表取締役
社 長 大 島 宇 一 郎 殿

推 薦 者 氏 名 _____

職 名 _____

〒 -

住 所 _____

下記のとおり、第73回中日文化賞の
候補者として、推薦します。

候 補 者	(ふりがな)		生年(設立年)月日		
	氏 名 (団体名)		明治 大正 昭和 平成	年 月 日	
	職 名 (団体代表者名)				
	住 所	〒 -	☎ < > -	出身地	都 道 府 県
業 績 名					
候 補 者 の 略 歴					
添 付 資 料	【ある場合のみ一覧をご記入の上、資料を推薦書に同封いただくか、別途ご郵送下さい】				
	返 却	● 要 ● 不要	(返却先)		

